

【概要版】庄内川流域水害版BCP作成支援ツール講習会開催の手引き

本資料は「庄内川流域水害版BCP作成支援ツール講習会開催の手引き」の概要版として、
講習会における説明のポイントや各STEPで使用する資料をとりまとめたものです。
全ての資料は「庄内川河川事務所HP」にて公開中です。是非ご活用ください。

講習会の事前準備【動作環境等の確認】

◆本講習会では「水害版BCP作成支援ツール」が必要であり、Microsoft®Excel®を使用できる環境が必要です。

(水害版BCP作成手引き「P2～8」)

◆可能であれば、参加者には事前に動作環境を確認させておく
と安心です。

動作環境の確認

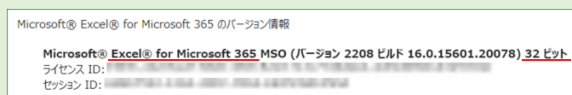
【使用環境】

本「水害版BCP作成支援ツール」は Microsoft®Excel® をベースに、マクロを使用した構成となっています。

- 動作環境 …… Microsoft®Excel® 2016以降 および Excel 365 が動作する環境
 - ※ 各バージョンは 32ビット版を推奨 (365は 64ビット可)
 - ※ 他社 Excel互換ソフトでは正しくマクロが動作しない可能性があるので、Microsoft 純正版をご使用ください

■バージョンの確認方法

- ① Excel を起動
- ② ツールバーのメニューより
[ファイル] ⇒ [アカウント] ⇒ 右側の [Excel のバージョン情報] をクリック



4

ファイルの構成とマクロの有効化

【ファイルについて】

本「水害版BCP作成支援ツール」は、以下の2種類のファイルを用意しています。

- 水害版BCP作成支援ツール [SMP]
- 水害版BCP作成支援ツール [EMP]

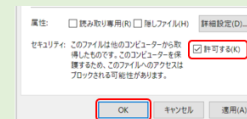
[SMP] 版は、この『手引き』で解説の元となる例文が入っているファイルです。
[EMP] 版は、例文の入っていないファイルです。

作成時に、どちらか使い易い方を選択し、ご利用ください。

なお、上記2ファイルをウェブ上などからダウンロードした際、そのまま開くと、マクロが無効になってしまうので、事前にファイルのプロパティを開き、下記のように「許可する」にチェックを入れてから、ご使用ください。

- ① エクスプローラーでファイルを選択
- ② 右クリックし「プロパティ」を選択
- ③ 「許可する」にチェックを入れ [OK]

※ 右のように「セキュリティ」が表示されていない場合は、そのままご利用できます



3

STEP1【水害版BCPの必要性を知る】

◆BCPを作成する意欲を喚起するため「なぜ水害版BCPが必要なのか」を参加者に理解していただく必要があります。

(水害版BCP作成手引き「P9～10」)

◆手引きを活用して主催者自ら説明してもよいですが、有識者に講演を依頼する、あるいは講演動画を活用すること等も有効です。

水害版BCP作成支援ツールとは

【水害版BCP作成の意義】

- ① 水害版BCPの作成を通じ、御社の水害リスクを把握することができること。
- ② リスクを踏まえた人命や施設、資材の安全確保計画を立案できること。

⇒ 流域企業のBCP作成による「流域全体の地域防災力向上」

【水害版BCP作成支援ツールの目的】

Microsoft Excelに入力するだけで、誰でも簡単にBCPを作成でき、水害に対する基本的な備えをすることができる。

【水害版BCP作成の注意点】

- ① 本ツールは、令和4年11月時点の知見に基づき作成しています。
- ② 本ツールは、水害版BCPを普及させるための無料のツールです。
再配布等をしていただいても構いませんが、営利目的での利用はしないでください。
なお、本ツールにより計画したBCPの内容に関する損害等の責任は一切負いかねます。

10

BCP・事業継続力強化計画 ⇄ 防災計画



企業防災	<ul style="list-style-type: none"> ・人的・物的被害を軽減させることが目的 ・災害発生直後の緊急時対応が中心 ・網羅的な被害対応 ・会社単位で自己完結
BCP 事業継続力強化 計画	<ul style="list-style-type: none"> ・企業を存続させることが目的 ・事前対策と重要業務の復旧活動が中心 ・重要業務(中核事業)の復旧継続に集中 ・他企業と連携した対策

<https://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/bcpseminar/>

有識者による講演動画
(庄内川河川事務所HPにて公開中)

STEP2【水害版BCP作成支援ツールの操作方法を知る】

◆「水害版BCP作成手引き」により説明しつつ、参加者には実際に「水害版BCP作成支援ツール」を操作してもらおうと、内容の理解が深まります。

(水害版BCP作成手引き「P26～84」)

コントロールシートの概要

水害版BCP支援ツール (Excelファイル) を開くと『コントロールシート』(画面上部の固定箇所) が表示されます。

各カテゴリーのボタンをクリックすると、対象のカテゴリーにジャンプします

現在選択しているカテゴリーには「▼」マークが付きます

各カテゴリーの色の付いた箇所に、入力又は選択、チェックマークを入れています

各カテゴリーボタンの下の色と、現在作業をしているカテゴリーの左側の色は同色にしています。どのカテゴリーの作業をしているかを把握しやすくしています

26

BCP基本方針の検討

1.1 計画の目的

1. BCP基本方針の検討	6. 重要業務継続のための対策
1.1 計画の目的	6.1 対策の検討
1.2 計画の基本方針	6.2 水災害発生直前の対策
1.3 計画の適用範囲	
2. 災害対策要員名簿	7. BCP発動基準
	7.1 安全な避難と浸水対策に要する時間
	7.2 BCP発動基準
3. 水害リスクの把握	8. BCPの定着・見直し
	8.1 水防災タイムライン
	8.2 BCPの定着・見直し
4. 避難の計画	9. 備蓄品リスト
5. 重要業務と必要資源の選定・確認	10. 資料編
5.1 重要業務の選定	
5.2 重要業務に必要な資源と想定被害の確認	

28

【概要版】庄内川流域水害版BCP作成支援ツール講習会開催の手引き

STEP3【自社の水害リスクを知り、避難計画を立案する】

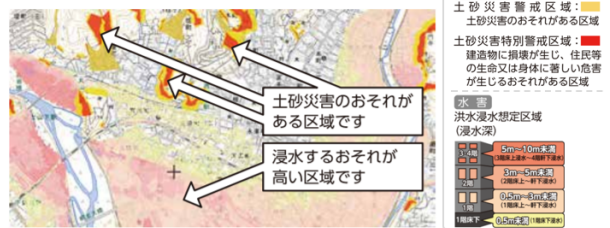
◆従業員や顧客の生命を守るため、自社の水害リスクを把握したうえで、避難計画を事前に立案しておく必要があります。

(水害版BCP作成手引き「P40～51」)

- ◆ まずはハザードマップの見方・使い方を理解いただきます。
- ◆ そのうえで、避難計画の立案方法を学んでいただきます。
- ◆ 解説動画も公開中です。是非ご活用ください。

参考) ハザードマップの見方

ハザードマップでは、想定される浸水範囲内の浸水深が、段階ごとに色別で示され、施設周辺や避難先の想定される浸水深を確認することができます。

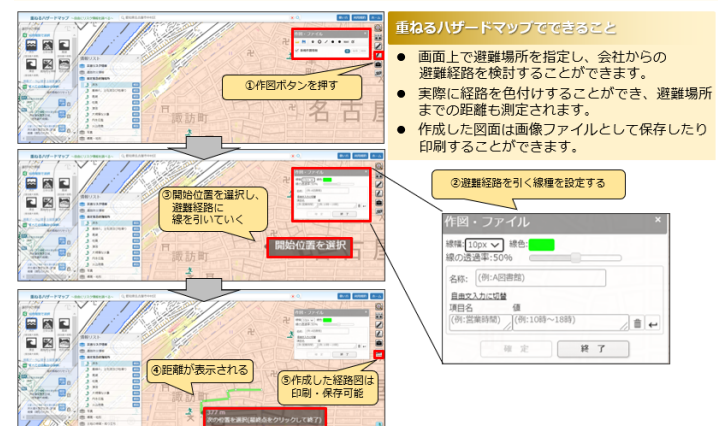


- ◆ 凡例の建物の高さはあくまで目安です。実際の建物の高さや浸水深を比較しましょう。
- ◆ 避難先が浸水想定区域内にある場合は、**想定される浸水深よりも高い位置に避難場所を設定する**必要があります。
- ◆ ハザードマップの着色や凡例は市町村によって異なる場合があります。

出典：内閣府「避難行動指針2016」_避難情報のポイント
http://www.bunka.go.jp/soshiki/guide/pdf/campaign.pdf

47

参考) 重ねるハザードマップを用いた避難経路図の作成方法

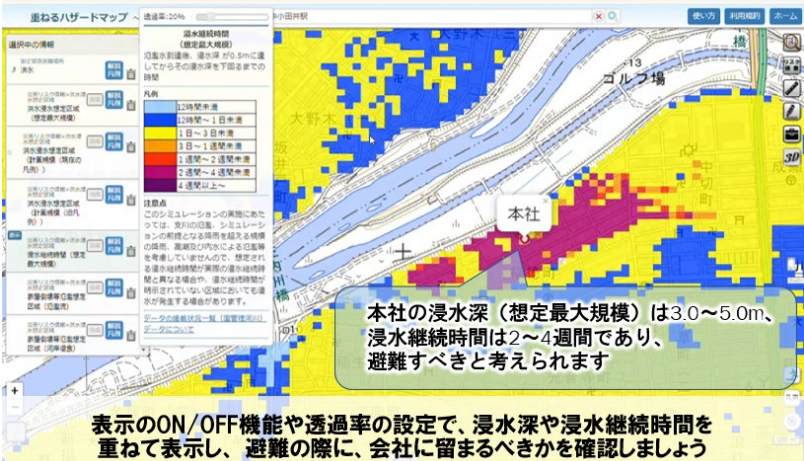


- 重ねるハザードマップでできること
- ◆ 画面上で避難場所を指定し、会社からの避難経路を検討することができます。
 - ◆ 実際に経路を色付けすることができ、避難場所までの距離も測定されます。
 - ◆ 作成した図面は画像ファイルとして保存したり印刷することができます。

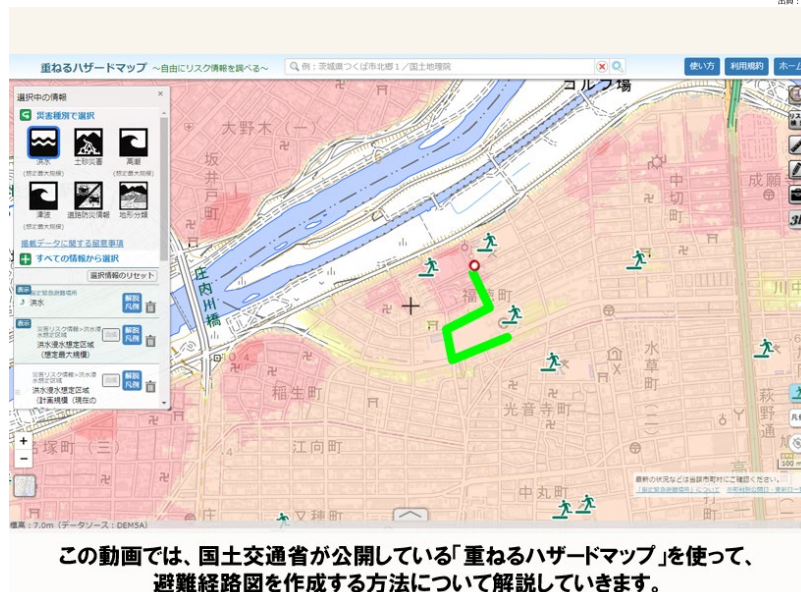
出典：重ねるハザードマップ <https://disaportat.gi.go.jp/maps/index.html>

51

浸水リスクを読み取る



表示のON/OFF機能や透過率の設定で、浸水深や浸水継続時間を重ねて表示し、避難の際に、会社に留まるべきかを確認しましょう



この動画では、国土交通省が公開している「重ねるハザードマップ」を使って、避難経路図を作成する方法について解説していきます。

上図：水害版BCP作成手引きより抜粋

左図：解説動画より抜粋

- ◆ 「重ねるハザードマップ」で浸水深や浸水継続時間を調べましょう
- ◆ 「重ねるハザードマップ」で避難所までの経路図を作成してみましょう (庄内川河川事務所HPにて公開中)

STEP4【洪水時に取得する情報を知る】

◆水害時の被害を局限するためには、水害の予兆を事前に捉え、適切に対応することが必要です。

◆適切に対応するための計画は「水害版BCP作成支援ツール」により作成可能ですが、情報の取得方法は別途理解していただく必要があります。

(水害版BCP作成手引き「P23, P87～92」)

◆ 解説動画も公開中です。是非ご活用ください。

入手方法例

(みずから守る防災情報メールサービス)

配信している情報

- 洪水予報河川情報** 新川、天白川、日光川、境川・濃妻川に洪水注意報・洪水警報が発表/解除されたときにメールを配信します。
- 水位周知河川情報** 八田川、矢田川、香流川、内津川、鶴川、山崎川、大山川、五条川、青木川、鏡川、舞江川、福田川、阿久比川、矢作古川、乙川、広田川、境野川、龍川、濃妻女川、音羽川、柳生川、梅田川、佐奈川の水位が【警戒レベル3相当】避難判断水位に到達したときにメールを配信します。
- 土砂災害警戒情報** 登録した市町村に、土砂災害警戒情報が発表/解除されたときにメールを配信します。
- 気象情報** 登録した市町村で次の気象情報・注意報が発表/解除されたときにメールを配信します。【特別警報】大雨、暴風、暴風雪、波浪、高潮【警報】大雨、洪水、暴風、暴風雪、波浪、高潮【注意報】大雨、洪水、高潮
- 津波情報** 伊勢・三河湾、愛知県外海に、津波警報・津波注意報が発表/解除されたときにメールを配信します。
- 地震情報** 愛知県東部、愛知県西部で震度4以上の地震が観測されたときにメールを配信します。
- 水位情報** 愛知県が管理する観測所の水位が水防関係水位、【警戒レベル2相当】注意水位、出動水位、【警戒レベル3相当】避難判断水位、【警戒レベル4相当】注意危険水位に到達した/下回ったときにメールを配信します。
- 雨量情報** 愛知県、市町村、気象庁が管理する観測所の累加雨量が注意雨量・警戒雨量に到達したときにメールを配信します。



「愛知県 みずから守る防災情報メールサービス」について
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kasen/0000053157.html>

92

上図(左)：水害版BCP作成手引きより抜粋

解説動画

「愛知県みずから守る防災情報メールサービス」の登録方法

国土交通省中部地方整備局
庄内川河川事務所

上図(右)：解説動画より抜粋